



仲間とともに
その33

子育て支援センター
すくすく

12月2日の読み聞かせ会にて。最後列左から子育て支援員の松下弥生さん(宮内)、保育士の佐藤さん

オープンから二周年を迎えた「すくすく」。村の親子が、地域の皆さんと一緒に利用をしています。菅野真美さん(小宮)は「ここに来て友達がたくさんできました」とこり。息子の煌清君(1歳)もすっかり慣れたようすで活発に遊んでいます。「よく来ています」という地域の利用者も「たくさんの木のおもちやが素敵で他の遊び場とは全く違います」と施設の魅力を話していました。温かな雰囲気運営を日々充実させているのは保育士の佐藤順子さん(上飯樋)ら2人の職員です。「子育ては大変な仕事。頑張っているお母さんたちを応援したいです」。



活動データ

- 0歳から就園前の子どもと保護者が利用・交流。
- 村の乳幼児健診も行われます。
- 多彩なイベント、年齢別の遊びの時間、親子体操や発育相談なども。



11/29

桜花の下に集う日を胸に描いて
草野行政区田町班が桜の植樹



久々の再会。植樹の間も会話や笑いが途切れません



前回の植樹のようすを伝える広報(平成5年5月号)

草野行政区田町班の皆さんが、草野館山公園の旧草野小学校跡地に18本の桜を寄贈し、記念の植樹を行いました。この場所を公園として整備しようと、同班では、22年前の平成5年春にも桜の苗木を植えています。今回の植樹を提案した濱田幸政さん(草野)は「先の桜が

弱ってしまったのが残念で、皆さんと2代目を植樹したいと思っていました。桜が咲いたら子や孫を連れて来て、ここで皆に会えたらと願っています」とあいさつ。集まった皆さんは、再会の時間を惜しむように、近況や思い出をにぎやかに語り合いながら、植樹を行いました。

表紙 村のたからもの
子育て支援センター「すくすく」での乳幼児健診にて。無垢な未来を宿す赤ちゃんの笑顔。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。